



散策のキーワード

まちなか散歩ツアーのエリア内には数多くの見学ポイントがあります。それらを9つのキーワードにまとめてみました。新しい発見の参考にしてください。

小川和紙

小川町和紙体験学習センターは昭和11年に建築された旧埼玉県製紙工業試験場で和紙の体験学習ができる拠点施設です。かつては人間国宝の故芹沢鉢介がここで指導に当たっていました。街中には店舗も含む和紙問屋も数多く軒を並べています。



絹織物

養蚕が盛んだったころ、小川からも絹製品が出荷されました。富岡製糸場開業時に工女として馳せ参じた青木てるや、養蚕の伝習所であった旧玉成舎が、絹のまちを彷彿とさせます。

造り酒屋

町内の3軒の酒蔵のうち、晴雲酒造と武藏鶴酒造がまちなかにあります。関東灘の異名をとる酒どころ小川町には、地元のお酒を愛する「乾杯条例」があり、居酒屋や割烹料亭も多くあります。



割烹料亭など

当時の賑わいを今に残す風情のある建物が残っています。明治維新の偉人「山岡鉄舟」ゆかりの二葉や、田山花袋も訪れた女郎うなぎの福助、風情ある萬屋旅館などが、当時の様子を伝えてくれます。



まちの賑わい

市がたった秩父往還は、その地割などで当時の様子を知ることができます。それを挟んで東西に延びる北裏・南裏通りには、さまざまな土蔵や長屋が立ち並び、往時をしのばせます。



豊かな清流

機川の流れに沿って遊歩道があり水を間近に感じられます。桟本堰のあたりの親水公園には水車が回り、秋には紅葉が迎えます。



http://www.kankou-ogawa.com
TEL 0493-72-1221(内234、235)
〒355-0392 埼玉県比企郡小川町大字大塚55
FAX 0493-72-1220

お問い合わせ用紙の申込用紙へ上記URLよりダウンロードして下さい。
お申込方法

● 講習会開催等お問い合わせ用紙へ上記URLよりダウンロードして下さい。
● 募集用紙の申込用紙へ上記URLよりダウンロードして下さい。
● 入館料等お問い合わせ用紙へ上記URLよりダウンロードして下さい。
● 安全上、1人一人10名未満で予約される方へ上記URLよりダウンロードして下さい。
● 予約用紙へ上記URLよりダウンロードして下さい。
● 携帯電話～3時間の範囲にて、案内員と相談の上決まりを立てて下さい。
● 開館時間 9:00～16:00(閉館時間)

■ 事前申込
■ 予約
■ 無料
■ 備考

14日前まで

お問い合わせ用紙の申込用紙へ上記URLよりダウンロードして下さい。
お問い合わせ用紙へ上記URLよりダウンロードして下さい。
お問い合わせ用紙へ上記URLよりダウンロードして下さい。
お問い合わせ用紙へ上記URLよりダウンロードして下さい。
お問い合わせ用紙へ上記URLよりダウンロードして下さい。

お問い合わせ用紙へ上記URLよりダウンロードして下さい。
お問い合わせ用紙へ上記URLよりダウンロードして下さい。
お問い合わせ用紙へ上記URLよりダウンロードして下さい。
お問い合わせ用紙へ上記URLよりダウンロードして下さい。
お問い合わせ用紙へ上記URLよりダウンロードして下さい。
お問い合わせ用紙へ上記URLよりダウンロードして下さい。
お問い合わせ用紙へ上記URLよりダウンロードして下さい。
お問い合わせ用紙へ上記URLよりダウンロードして下さい。
お問い合わせ用紙へ上記URLよりダウンロードして下さい。
お問い合わせ用紙へ上記URLよりダウンロードして下さい。

お問い合わせ用紙へ上記URLよりダウンロードして下さい。
お問い合わせ用紙へ上記URLよりダウンロードして下さい。
お問い合わせ用紙へ上記URLよりダウンロードして下さい。
お問い合わせ用紙へ上記URLよりダウンロードして下さい。
お問い合わせ用紙へ上記URLよりダウンロードして下さい。
お問い合わせ用紙へ上記URLよりダウンロードして下さい。
お問い合わせ用紙へ上記URLよりダウンロードして下さい。

お問い合わせ用紙へ上記URLよりダウンロードして下さい。
お問い合わせ用紙へ上記URLよりダウンロードして下さい。
お問い合わせ用紙へ上記URLよりダウンロードして下さい。
お問い合わせ用紙へ上記URLよりダウンロードして下さい。
お問い合わせ用紙へ上記URLよりダウンロードして下さい。
お問い合わせ用紙へ上記URLよりダウンロードして下さい。

お問い合わせ用紙へ上記URLよりダウンロードして下さい。
お問い合わせ用紙へ上記URLよりダウンロードして下さい。
お問い合わせ用紙へ上記URLよりダウンロードして下さい。
お問い合わせ用紙へ上記URLよりダウンロードして下さい。
お問い合わせ用紙へ上記URLよりダウンロードして下さい。
お問い合わせ用紙へ上記URLよりダウンロードして下さい。

お問い合わせ用紙へ上記URLよりダウンロードして下さい。
お問い合わせ用紙へ上記URLよりダウンロードして下さい。
お問い合わせ用紙へ上記URLよりダウンロードして下さい。

なぜ万葉集？

鎌倉時代、読みなくなった万葉集を読み解く「万葉集註釈」が仙覚律師によりこの地で書かれ、それを顕彰して「仙覚律師碑」が建てられました。その碑を巡るコース上には、万葉モニュメントが多く立っています。



しまむらとヤオコー

皆さんご存知の「ファッションセンターしまむら」と「スーパーヤオコー」はいずれも小川町が発祥です。しまむらは「島村呉服店」、ヤオコーは「八百幸商店」と、いずれも秩父往還沿いにありました。



路傍の石塔にも

これまでの人々の暮らしは、何の変哲もない路地や灯篭や石碑も語ってくれます。ついうっかりと見落としてしまうようなところにも、新しい発見があるかもしれません。